

中学部：自立活動

名称	ピンポン玉タワー
教科・領域	自立活動
対象	中学部 3年 重度重複学級
指導形態	個別指導

写真等



ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ピンポン玉を持つ→つまむ、握る等、手指の操作性の向上 ・目的の場所に正しくピンポン玉を置く、入れる→目的的行為を促す ・箱の中に詰まれていくピンポン玉に注目する→追視を促す
使い方	<p>①生徒は机を隔てて教員と向かい合い座る。②ピンポン玉タワーは中の見える側面を生徒のほうに向け机の上に置く。③ピンポン玉の入った袋を生徒の利き手側に置く。④生徒がピンポン玉を一つ持ち、タワーの入り口にピンポン玉を置く。置いて手のひらで押しと少しの抵抗で中に入れることができる。⑤中に積まれていくピンポン玉にも注目できるように促す。<初めて使用する時は教員がやり方を見せる></p>
作り方	<p>【材料・道具】蓋があり高さのある紙製の箱、カッター、カッター板、古くなったクリアファイル、ピンポン玉、両面テープ、マジックテープ(2cm 四方程度)×4片、ピンポン玉を入れる袋【作り方】①側面に当たる箱の蓋の辺から1.5センチ程度残してカッターで中心を切り抜く。②切り抜いた部分に適度な大きさに切ったクリアファイルを両面テープを使用して裏から貼る。②タワーの上面にあたる部分を円形(放射状)に切り抜く。③箱と本体をマジックテープで接続し固定する。</p>

中学部：自立活動

名称	ワッシャー落とし
教科・領域	自立活動
対象	重度重複学級の児童・生徒
指導形態	個別学習
<p>写真等</p> 	
ねらい	ワッシャーの落ちる独特な動きを見て、追視や注視する力を養う。
使い方	<p>①教員がワッシャーを落とし注視させる。</p> <p>②児童・生徒自身がワッシャーを落とす。</p> <p>※実態に応じて使い方を変える。</p>
作り方	<p>①木材に鬼目ナットを入れる。</p> <p>②寸切ボルトの先に色を塗る。</p> <p>○今回は M8 のボルトに同型のワッシャーを使用している。</p> <p>ボルトとワッシャーは同型でないとワッシャーが引っかかりながら落ちないのでサイズの確認が必要。</p> <p>○ボルトが刺さった状態ではかき張ること、児童・生徒の安全を考慮して取り外し可能にした。</p>